

一立 天童市議会だより

2012
11.15.
No. 138
TENDO



あいさつと歌——心を開き、心を響かせ合う、成生小の子どもたち
地域の方々と朝のあいさつ運動 にっこり笑顔でハイタッチ（上）
市小学校音楽会 全身全霊で歌を表現することを目標にして（下）

9月定例会

特集(議会改革).....	2	討論.....	12
議会報告・意見交換会.....	3	提出議案と結果(賛否表)...	13
一般質問.....	4～8	議会のうごき、	
予算特別委員会.....	9	会派・委員会の変更.....	14
決算特別委員会.....	10～11	市民の声.....	16

10月11日の9月定例会最終日、議会改革特別委員会から議長あてに中間報告書が提出されました。

平成24年3月21日の本会議において、議会改革特別委員会が設置されました。その後、議会改革特別委員会に付託された「議会改革に関すること」について月2回のペースで検討を行うとともに、8月には議会改革の先進市議会である埼玉県鶴ヶ島市議会と千葉県流山市議会を訪

れ、議会報告・意見交換会などについて行政視察を行いました（視察の報告は15ページに掲載）。議会改革特別委員会が設置されて半年が経過したことから、平成24年9月定例会において、これまでの13回にわたる検討結果について、中間報告がされました。中間報告の概要については左表のとおりです。なお、中間報告書は、市議会のホームページに掲載してありますのでご覧ください。議会改革特別委員会では引き続き、地方分権に対応し、市民に開かれた議会を目指して、改善・検討を進めていきます。

検討の結果（特別委員会における決定事項）

検討項目	検討結果
常任委員会について	定期開催は行わないが、委員2人以上の招集要求で、委員会を開催できるようにする。
議員間討議について	議員2人以上の要求で、議員同士による自由な討議ができるようにする。
市長（執行部）への反問権の付与について	論点を明確にするためなどの条件を付け、市長（執行部）に反問権を付与するために、執行部と調整する。
市民に対する議会報告会、意見交換会等について	議会活動を市民へ直接報告し、市民との意見交換を行うため、議会報告・意見交換会を実施するものとする。今年9月定例会後に試行する。
市民アンケート調査、議会モニター制度等について	試行する議会報告・意見交換会の経過を見ていく。
夜間、日曜日等の議会・委員会開催について	経費等に課題があり、実施しない。
本会議、委員会の傍聴について（傍聴席等）	傍聴環境の改善は必要だが、市庁舎・議会棟の耐震補強計画が示された時点で再度協議する。
議会広報、ホームページについて（賛否の公表等）	本会議での議員の議案に対する賛否を、今年9月定例会分から、議会だよりとホームページにおいて公表する。詳細は広報委員会で協議するものとする。
正副議長選挙の立候補制について	正副議長選挙に関して、2人以上の推薦を受けた議員による所信表明の場を設ける。ただし、正副議長選挙の対象者を法的に限定するものではないものとする。詳細は今後詰め、次回正副議長選挙から運用する。
議会事務局体制について	事務局職員の質を一層向上させるために、研修（特に法制執務関係）の充実を要望していく。

9 月 定 例 会

審 議 日 程

平成24年度第4回市議会定例会（9月定例会）は、9月19日から10月11日までの23日間の会期で開かれました。

市長提出の報告1件、契約変更議案1件及び人事議案1件については初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成23年度決算議案12件、平成24年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案10件、条例議案等4件及び請願1件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、10月11日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に委員会提出議案1件が提出され採決が行われました。（採決結果は13ページ、請願審査結果は16ページに掲載してあります。）

月 日	内 容
9.19(水)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など）
9.24(月) 9.25(火)	本会議（市政に対する一般質問）
9.26(水)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
9.28(金) 10.2(火) ～4(木)	決算特別委員会（付託案件の審査、討論、表決）
10.4(木)	環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
10.5(金)	予算特別委員会（付託案件の審査）
10.9(火)	予算特別委員会（討論、表決）
10.11(木)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

初めての

議会報告・意見交換会

現在、議会改革を推進している段階ですが、できるものはすぐに実行ということで、初めて「議会報告・意見交換会」を開催しました。

10月22日(月)午後7時から下記の市内4カ所で同時に開催し、合計250人以上の参加がありました。

議会の情報が議会だよりでしか分からず、議員の活動も目に見えないという市民の意見に対応するため、報告会を議員自ら開催し、市民に開かれた議会に少しでも近づけるものです。また、意見交換会をする事で政策提言の充実に図るためです。

当日の意見や要望は議会運営や議会改革への貴重な意見として受け止め、市議会の対応などについては、来年2月1日発行予定の「議会だより」に掲載する予定です。

参加していただいた市民の皆様、ありがとうございます。

市立天童南部公民館（一中学区）

約60人の参加で始まった報告会。意見交換に入ると、次々と手が挙がり、自分の思いを込めた様々な意見が出された。メモを片手に質問される方もおり、関心をもって参加していた。

芳賀開発に関する意見や、子育て支援施設の用地取得についての意見が多く出された。日常の議員活動が分かる情報発信の方策など、今後の議会改革に期待する声も多かった。



市立高掬公民館（三中学区）

市民約80人が参加して開催され、芳賀土地区画整理事業への公共投資に対する質問・意見が集中した。子育て支援施設用地取得の議案に対する賛否、新駅建設、防災調整池整備などに関して活発な意見交換がなされた。

議案審査における議論の経過、政策決定過程を市民と情報共有し、信頼される議会にするための貴重な議会報告・意見交換会となった。



市立天童北部公民館（二中学区）

今回初めて開催された報告会には、約50人の参加があり、議員・住民共に緊張した面持ちで始まった。議員から9月定例会の内容を報告後、質問や意見を受けた。子育て支援施設用地取得の議案に対する各議員の賛否や、北部地区の開発に関する意見が多かった。女性が多く参加できるような、もっと身近で積極的な意見交換会にしてほしいという意見に拍手が起こった。



市立天童中部公民館（四中学区）

市政に関心を持つ約60人の参加をいただき「市議会からの報告」の後、意見交換に移った。特に「芳賀区画整理事業と市負担」及び「新駅設置」について活発な意見が展開された。また、山形市の「救急対応のあり方」が問われた事件に関連し、「天童市の救急対応」を問う質問があり、本市では全ての救急要請に応えているとの説明を行い、ご理解をいただいた。



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、9月24日、25日の2日間の日程で、12人の議員が行いました。

芳賀土地区画整理事業をはじめ、行財政改革や市民病院の経営等について、市長、教育長、病院事業管理者の見解を求めました。

救急車出動

救急車出動の判断基準について



水戸芳美議員
山形市で、

山田生が救急車を要請した

が出動せず、後にアパートにて遺体で見つされた事故が発生した。SOSが届かず、若い命が失われ残念に思う。また救急車の利用が適正でない利用も多いとのこと。天童市では、救急車出動と病院への搬送についての判断基準やマニュアルはあるのか伺いたい。

山本市長 救急出動の判断基準については、消防本部救急業務に関する取扱規程に、「救急事故が発生した旨の通報を受けたときは、直ちに救急隊を出動させなければならぬ。」と定められている。よって、いたずら電話と確認した場合以外は全て出動している。

搬送の判断基準についても、同規程に「傷病者又は当該傷病者の関係者が搬送を拒

んだ場合、若しくは傷病者が明らかに死亡しているときは、搬送しないもの」と定められており、これ以外については、全て病院に搬送している。なお、平成23年の年間救急出動件数は2092件、搬送人員は1981人となっており、前年比で127件、138人増加している状況である。また、搬送の結果として医師が軽症と判断した比率は、41%となっている。



▲119番通報での要請で救急車が出動

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★清新会

水戸芳美議員

* 救急医療について
* 「笑顔にぎわいしあわせ実感 健康都市」の実現について

矢萩武昭議員

* 職員の育成と服務規律の確保について
* 公の施設の管理運営の改善について

山口桂子議員

* 災害時の相互交流協定都市等との連携について
* 地域防災力の向上について

赤塚幸一郎議員

* 行財政改革の考え方や方法について
* 芳賀土地区画整理事業に関連する公共投資について

★自公・政和会

松田光也議員

* 本市の電力エネルギー需給にかかわる今後のビジョンについて
* エコタウン天童市を目指して

結城義巳議員

* 河川愛護デーの河川敷一斉清掃について
* 「原発」に対する、市民の安全・安心対策について

★市民クラブ

* 「市道温泉原町線(一部新設) 拡幅整備」早期実現について

★市民クラブ

狩野佳和議員

* 芳賀土地区画整理事業への関わりについて
* 行財政改革の進行状況について

海鋒孝志議員

* 予約制乗合タクシー(ドモス)について

★会派に属しない議員

* 予約制乗合タクシー(ドモス)について

茂木孝雄議員

* 市職員の意識改革について
* 芳賀新駅計画について
* 市民病院の経営状況について

石垣昭一議員

* オスプレイ配備・飛行訓練の中止を求めることについて

伊藤和子議員

* 通学路の安全対策について
* 介護保険法改正・介護報酬改定後の介護の実態について

安全・安心に暮らせるまちづくりの推進について

安全・安心に暮らせるまちづくりの推進について

職員の育成と服務規律の

確保について



矢萩武昭議員

市政運営には、幅広い市民の理解と協力を無条件のこと、トップ及び部長のリーダーシップ、そして、何よりも直接業務に携わる職員の育成が欠かせない。このたび、女子職員同士が勤務時間中に、「けんか」

をしたという不祥事を受け、今後どのように総括し、市民の信頼を確保するのか。
山本市長 今回の職員の不祥事については、勤務時間中に、暴行・暴言事件が発生し、公務に対する信用を著しく失墜させてしまい、大変申し訳なく、心よりお詫びしたい。その後、全職員に綱紀の粛

芳賀土地区画整理事業に 関連する公共投資について



赤塚幸一郎議員

芳賀の大規模開発は、少子化及び社会情勢から無理があり、それを補う公共投資の垂れ流しは問題と反対の立場であった。今、芳賀新駅の設定計画が示され、さらには雨水調整池までも市が肩代わりして施工する

計画も出された。新駅の二丁にはあるのか、肩代わり工事は利益供与にならないのか。
山本市長 芳賀新駅の設定目的については、市民の利便性向上や県総合運動公園へのアクセス向上、高齢化社会への対応、定住化の促進などの効果が期待され、本市の将来のまちづくりにも多大なる恩恵を享受できると考えている。

地域防災力の向上について



山口桂子議員

災害時の一時避難所として、近くの公園・備蓄の拠点として活用できないか。

山本市長 市では、地区自主防災会連絡会の組織化を推進しており、現在8地区設置されている。地区自主防災会連絡会は、収容避難所が市立公民館や小中学校となることから、地区内の連携が最も重要

園が指定されている。久野本地区では、久野本公園と東久野本公園の2カ所が指定されており、収容人数は合わせて1500人となっているが、住民は4600人を超えている

である。

久野本地区の避難所についてはスペースが足りない状況を確認しているが、現在、久野本水源地に、下水道の備蓄倉庫を整備する考えである。

よって、久野本地区においては、企業等の敷地が避難場所になることも想定される。あらゆる災害が想定され、その場合の避難所として企業等の敷地をすぐ借り上げられる状況であればいいが、企業等の状況にも配慮しながら、慎重に対応していきたい。



▲市民文化会館大集会室で、芳賀地区の新駅計画の説明会を開催

7月31日に開催した市民説明会には約200人の参加があり、新駅に期待する意見をいただいた。また、まちづくり懇談会でも説明し、事業に対する理解を得られたと判断している。
調整池については、芳賀と長岡地区の雨水排水量抑制のため、本市が維持管理の効率性を考慮し、一体的に整備するものである。組合からは当初予定の調整池工事費用相当額を負担していただく予定である。

再生可能
エネルギー

エネルギーの 地産地消について



松田光也議員

今、国民は
原子力発電に
頼らない社会

の実現を望んでおり、本市でも自然環境を活かした、再生可能エネルギーの地産地消を推進すべきと考えるが、今後の取り組みについて伺う。また、倉津川に小水力の水車を

設置し、市庁舎電気利用や天童桜まつりのライトアップ等に有効活用できないか。

山本市長 太陽光発電システム

ムが、本市の気候風土に最も適した再生可能エネルギーと考えている。平成24年度から4カ年計画で国の基金事業を活用し、防災拠点となる消防署等に、太陽光発電システム

を導入していきたい。また、平成17年以降、太陽光発電システム設置者に補助金を交付し、再生可能エネルギーの導入を推進してきた。平成17年度から平成23年度までの6年間の補助実績は116件である。今後も補助件数の拡充を図っていきたい。

倉津川に小水力水車などの工作物を設置する件について、県村山総合支庁に照会したところ、洪水時の支障になるので許可は難しいとの回答であった。

通学路



結城義巳議員

貫津・奈良

沢から天童一
中への通学路

は、狭く曲がりくねっていて、薄暗く危険極まりない。早期に、貫津沼の東側を拡幅整備し、安心して通える道路にできないか。長い間の要望が実現していない。1年の遅

拡幅整備し、安全・安心な 通学路について

これは中学生にとつては大きい。夢へ向かって歩く道路であり、喜びを与えてほしい。

山本市長 幹線道路網の整備

は、3カ年実施計画に基づき、優先度の高い路線から計画的に実施している。幹線道路の整備はその事業規模の大きさから長期にわたり、なかなか進まないのが現状であ

る。昭和52年と平成17年の市議会で、当該路線の整備についての請願が採択されているが、貫津沼を縦断する道路計画のため、多額の予算を要し、具体的な計画までに至っていない。今後、当該路線の整備計画については、昨年度に策定した道路整備計画や財政状況、緊急性等を十分に踏まえながら中長期的な計画の中で整備を図りたい。現在は通学路区間の安全確保を図る観点から、部分的な改良工事を進めているところである。

図書貸出し

図書の貸出し予約ができる システムの実現について



後藤和信議員

急速なインターネットや
携帯電話の普

及により、現在、自宅等からインターネットを通じて図書館の蔵書の検索は可能である。いつでもどこからでも自分の読みたい本の貸出し予約ができる図書館が増加している中、市民サービスの向上の観点から早期に実施すべきと思うがどうか。

水戸部教育長 インターネット

による図書貸出しの予約については、現在のところ、県立図書館をはじめ、7つの公立図書館が導入している。

市立図書館の利用者の利便性をより一層高めるため、今後、市立図書館の図書の貸出しシステムの変更と、利用希望者に対するパスワードの付与等の手続きを行ったうえで、この図書貸出し予約システムの導入を推進していきたい。



▲平成23年度の入館者数は約14万人



▲現在、図書館の業務用システムの修正を検討している

芳賀開発

芳賀土地区画整理事業に

ついて



海鋒孝志議員

大型総合病院進出報道もあるが、進出決定の場合の市民病院への影響について伺いたい。

1300戸の宅地分譲はこれからが正念場である。芳賀新駅も、2年後に開店と言われているイオン出店計画も、同事業の分譲促進のための施策であり、もはや後戻りはできないが、順調に進んでいるのか。また

山本市長 平成19年度から10カ年計画で行う芳賀土地区画整理事業は、6年目を迎え、順調に事業が進められている。昨年に続く保留地の第2期分譲については、10月から

これからの正

山本市長 平成19年度から10

の受付を前に、市報や新聞折

芳賀開発

芳賀土地区画整理事業への

関わりについて



狩野佳和議員

り込みで周知を図っている。芳賀新駅については、現在、J.Rの仙台支社が本社との協議を進めており、イオンモール出店については、土地区画整理組合と協議を進めていると伺っている。

総合病院進出については、市内の病院が移転進出に向けて土地区画整理組合と協議中とのことである。よって病院の規模や診療科目等が未確定のため、現段階で市民病院に対する影響を判断するのは難しい。

狩野佳和議員 芳賀土地区画整理事業の完成までに市

の支出総額は。芳賀新駅計画は4年前の市長公約には無い。新駅の必要性を議会と市民に明確に説明すべきであり、建設ありきの進め方は問題では。区域内の調整池を組合施行から市施行に切り替え、3畝の土地を新規に取得し、進める事業は問題ではないか。

山本市長 芳賀土地区画整理事業は、平成19年度から平成28年度までの10年間の計画で、事業主体は、芳賀土地区画整理組合である。当該事業への市の支出については、都市計画道路4路線の築造費の負担額が6億5300万円、

公園の公共管理者負担金が1億700万円、関連事業としての上下水道整備では、水道負担額が3億1800万円、下水道負担額が2億2500万円、負担総額は13億300万円を見込んでいる。

芳賀新駅計画については、市民の利便性の向上をはじめ、芳賀地区の定住化促進、県総合運動公園へのアクセス向上など、さまざまな効果が期待されている。この新駅設置については、平成21年度に策定した第六次天童市総合計画に掲げて取り組んできたもので、土地区画整理組合と協力しながら新駅設置をJ.Rに要望しているものである。

芳賀新駅

芳賀新駅計画、

全額税金投入は理不尽



茂木孝雄議員

天童駅と高

揃駅間は3・

4キロで所要

約3分。市が5億

円を投じて無人

駅を設置しても

効果は少なく、

受益者は地権者

と一部の地域住

民に限られる。

負担者(市民全員)と

受益との均衡が

ドモス等市内交通網の改善や中心市街地の活性化等、5億円を投じるなら先にやるべき課題は多いと思うがどうか。

山本市長 芳賀に新駅が設置

されたら、利便性の向上はも

とより、芳賀地区の定住化促

進、県総合運動公園へのアク

セス向上などの効果が期待さ

れる。さらに将来にわたるま

は得られたと判断している。

は得られたと判断している。

は得られたと判断している。



▲住宅建築が進む芳賀地区

新調整池については、将来の維持管理の効率性を考慮し、同一敷地内において、新たな市街地となる芳賀地区の雨水排水と、長岡地区の雨水の排出量を抑制する、防災調整池を整備したい考えである。

通学路の安全対策について



石垣昭一議員

全国で登下校中の児童生徒の交通事故

が相次いでいる。いずれの事故現場も、歩道がない、信号がない、交通規制がとられていないなど、安全対策の不備が大きな事故になっている。本市でも市民から通学路の交

通安全上の問題箇所を指摘されているが、今後の対策方針を伺いたい。

水戸部教育長 通学路の危険箇所については、毎年春、学校とPTAを中心に点検し、学校ごとに通学路マップを作成するなどして安全指導、安全確保に努めている。今年度は5月に各学校の通学路点検

を行った。

また、全国一斉に警察、道路管理者及び教育委員会が、合同で通学路の安全点検を実施し、本市では、計26カ所において、安全協会役員等の協力を得ながら実施している。

今後とも教育委員会では、各学校からの情報や合同点検の結果を受けて、市全体の危険箇所マップを作成し、実態の把握と対策を検討していきたい。横断歩道の設置や移設など、地域の実情に応じた具体的な対策を講じていきたい。

介護職員の処遇改善は

図られたか



伊藤和子議員

介護職員処遇改善交付金が3月で廃止

され、介護報酬に介護職員処遇改善加算として創設された。交付金は申請手続きの煩雑さから、小規模な事業所は申請しないなど問題があった。介護現場で働く労働者の

処遇が改善されたのか実態をどう捉えているか。改定による事業所の経営などへの影響は。

山本市長 平成23年度まで実施していた介護職員処遇改善交付金は、県内の約9割の事業所が申請している。市内でも同割合の事業所が申請したものと考えられ、この制度

は、介護サービスに従事する介護職員の賃金の底上げに効果があったと理解している。このたびの改定により、従来の交付金から介護報酬に変わったが、事業所の申請手続きに変更はなく、厚生労働大臣が定める基準によって介護職員処遇改善計画書を作成し、必要な書類を添付して、都道府県知事または市町村長に届けることになっている。今後とも介護職員の賃金改善の効果を継続できるよう、事業の実態把握に努めたい。

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の沼澤政辰氏及び水戸部知之氏が、平成24年9月30日をもって任期満了となることに伴い、沼澤政辰氏の後任として佐藤通隆氏（三日町二丁目）を任命するとともに、水戸部知之氏（奈良沢）を再び任命することに同意しました。

意見書

10月11日に総務教育常任委員会から提出された意見書提出の議案が、全会一致で可決されました。意見書は直ちに関係機関に送付しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書（要約）

医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の振興、環境対策などの今後増大する財政需要を的確に取り入れることなど、平成25年度の地方財政予算全体の安定確保にむけて、対策を講じるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。（提出先：内閣総理大臣ほか）

第3回臨時会

第3回臨時会が7月26日に開催され、報告案件1件、議案4件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼報第11号 交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について
▼議第12号 天童市市民文化会館の設置及び管理に関する条例及び天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
▼議第13号 天童市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

（市民文化会館と図書館の開館日を拡大させるもの）
▼議第14号 小型ロータリー除雪車の取得について
▼議第15号 除雪ドーザの取得について
（除雪車等を取得するもの）



予算特別委員会

平成24年度一般会計補正予算

4億8917万4000円を
増額補正

一般会計4億8917万4000円を追加する補正予算をはじめ、国民健康保険特別会計2億7103万2000円を追加、介護保険特別会計7887万円を追加するほか、7会計の補正予算は、予算特別委員会に付託され、審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

勤労青少年ホームの 工事関連委託料の内容は

委員 勤労青少年ホームの工事関連委託料328万7000円の内容は。

生涯学習課長 勤労青少年ホームは建設後37年を経過しており、耐震化工事に併せて、老朽化に伴う改修に係る設計を委託するものである。

交通安全施設整備 工事費の内容は

委員 施設整備1956万2000円の内容と実施箇所は。

生活環境課長 危険箇所のほか、風雪等で傷んでいる道路反射鏡の工事を1630万円で実施するもの。さらに道路の交差点のカラー舗装化を3カ所予定している。場所は泉町地内、下山口地内、本町地内を予定している。

第3子以降保育料 無料化の内容は

委員 多子世帯の支援に要する経費1387万5000円増額の内容は。

子育て支援課長 保育園・児童館との整合性を図るため、補助対象経費に、私立幼稚園と認可外保育施設のおやつ代、冷暖房費を加えたもの。

また、私立幼稚園の第3子園児の保護者の所得が予想より高く、私立幼稚園への国からの補助金が当初の予定よりも減少する見込みになったため。

農業担い手 青年就農給付金の内容は

委員 国が進めている青年就農給付金525万円の内容は。
農林課長 当初予算では3人分を見込んでいたが、半年度との申請方法となったため、

今回の補正により13人分を見込んでいる。1人当たり年間150万円を支給する制度である。

モンテディオ応援プレミ アム商品券発行の内容は

委員 モンテディオ応援プレミアム商品券発行事業費1150万円の内容は。

商工観光課長 商店街連合会が、市内経済の活性化を図りながら、モンテディオを支援するため、1万1000円分の商品券を1万円で、1万セット発行する事業に対する補助金である。市ではプレミ

アム（割増し）分と事務費の一部を補助するもの。商品券発行予定日は12月8日で、使用期間は、来年2月末までと検討している。

道路維持工事費の 事業内容は

委員 通学路の安全のために行う道路維持工事費913万5000円の内容は。

建設課長 道路の路肩を歩行空間として緑色の区画線を設置する工事費である。場所は長岡小学校区1カ所、天童中部小学校区の2カ所で、合計1・5キロメートルを予定している。

一般会計補正予算(第3号)あらまし

補正額 4億8917万4000円
予算総額 207億7484万3000円

◆主な内容 (単位：千円)

交通安全対策に要する経費	19,562
多子世帯の支援に要する経費	13,875
障がい児通所支援の給付に要する経費	10,075
定期予防接種に要する経費	23,821
地球温暖化防止に要する経費	1,200
果樹の振興に要する経費	9,762
畜産振興一般に要する経費	9,076
商店街振興対策に要する経費	11,500
道路の管理に要する経費	9,135
公共下水道事業会計に要する経費	45,513
私立幼稚園の支援に要する経費	1,680

決算特別委員会

一般会計を含む12件について認定

平成23年度一般会計決算をはじめ、9件の特別会計決算、水道事業会計及び市民病院事業会計決算の計12件が提出され、決算特別委員会に付託されました。

審査の内容の主なものは次のとおりです。



▲市内に31台の防災無線機が設置

防災行政無線局の設置状況は

委員 携帯無線機6台を備えながら、市内の設置状況とその性能は。

市長公室長

天童市総務部に基地局を置き、今回6台を整備したことにより、市内には全部で31台の防災無線機が設置されている。内訳は、車載（公用車）の無線機が11台。肩掛け可搬型の無線機4台は、市立田麦野・荒谷・干布公民館と市長公室に設置。携帯無線機15台は市民病院、消防本部、市立公民館（10台）、市長公室（3台）に設置している。この無線機の性能は、出力が5ワットで、基地局から市内全域と通信できるものである。

避難場所案内表示板の設置状況と今後の計画

委員 指定避難公園が75カ所あるが、案内表示板設置状況と未設置公園への計画は。

市長公室長

市街地の公園61カ所のうち55カ所が設置済みで、残り6カ所が未設置となっている。平成24年度中に

3カ所設置し、残りは計画的に設置したい。周辺地域には14カ所の公園に設置する予定であり、順次計画したい。

すこやかスクールプロジェクトの成果は

委員 本事業は平成21年度から実施しているが、3年間の内容とこれまでの成果は。

学校教育課長

このプロジェクトで不登校の未然防止と学力の向上をめざして、支援員の配置や各学校での支援体制の構築を進めてきた。発達障がいをはじめ、様々な要因によって学習や学校生活に不適応を起こしている児童生徒への支援の充実を図っている。その成果として、不登校児童生徒数は年々減少傾向にあり、平成23年度にはピーク時だった平成19年度の半分以下の39人にまで減少した。学力面では、標準学力検査でどの学年も全国標準を上回る結果となっている。

敬老会への参加状況は

委員 敬老会への参加率はどの程度か。



▲今年の天童中部敬老会には、337人が参加

社会福祉課長

市全体の敬老会への参加率は38割である。平成23年度敬老会において参加率が1番高い地区は田麦野地区の64・3割で、一番低い地区は天童中部地区の26・8割である。

子ども手当からの

給食費等の徴収は

委員

子ども手当から徴収している、小中学校の給食費未納分のほか、保育園・児童館の保育料等の未納分について、どのように徴収しているか。

子育て支援課長

平成23年10月以降、給食費等の徴収は、保護者の承諾を得て、保育料

については承諾がなくても子ども手当から特別徴収できるようになった。手当支給月に、保護者宛に特別徴収となる内容の通知を差し上げ、その内容に異議がなければ充当している。

平成24年6月支給分で特別徴収しているのは、保育園・児童館の保育料等が23人、同年10月支給分については19人である。小中学校の学校給食費の場合は、平成24年6月支給分で9校41人分、同年10月支給分で7校25人分を特別徴収している。子ども手当からの特別徴収については、今後も有効に活用しながら対応していきたい。

デマンド型乗合タクシーの利用実績は

委員

平成23年度利用実績は平成22年度比で約4000人減少している。事業の成果をどう考えているか。

生活環境課長

利用実績人数が減少しているのは事実であるが、天童、田麦野線等の一部路線を区域乗合型に変更したことにより、利用人数が増

加しているところもある。今後、利便性の向上を図るため、例えば午前中出かけたからお昼までに帰れるような路線や、申込方法についても改善し、利用実績増を図りたい。

市民病院の未収金 対策について

委員 医業収益に対して未収金が約17割ある。このうち平成23年度単年度の未収金額は、どの程度か。未収金は不良債権になりえるのか。

病院事務局長 未収金約1億8986万円の中身は、3月末締めのため、2・3月の診療報酬が2カ月遅れで入金されることによるもの。平成23年度の医療費の未収金については約230万円である。これについては、4月以降順次入金されている状況である。平成22年度以前の医療費の未収金は約1900万円になる。これについては、督促しながら徴収に努めている。

農作物被害を 防止する対策は

委員 イノシシ、サル等から

農作物の被害を防止するための事業内容は。

農林課長 イノシシ被害防止のため、捕獲用の罠を10台設置した。また、サル被害防止については、サル接近警戒システムのテレメトリー発信機を2台取り付け、農作物被害防止に努めた。今後発信機の増設を予定している。

市道等の 除排雪事業の実績は

委員 平成23年度は除雪のほかに、排雪も問題であった。除雪、排雪のそれぞれの支出は。

建設課長 平成23年度の除雪費用は、総額で3億3000



▲平成24年2月の大雪による除排雪作業

万円であった。排雪場の管理費用は約1440万円で、除雪費用全体の4割に相当する。また、道路排雪費用は約1億510万円で、全体の32割。通常の除雪費用は全体の64割であった。

住宅リフォーム 総合支援事業

委員 県の事業の上乗せとして行った事業の成果は。

建設課長 この事業を実施して117人に助成を行った。補助対象となる部分補強、省エネ化、バリアフリー化、県産木材の使用の4要件のうち、省エネ化の利用が約65割ともっとも多く、2重サッシやエコキュート等の改修を施工された。今後も制度の周知に努めていきたい。

決算特別委員会 正副委員長を互選

9月28日に開かれた決算特別委員会において、委員長、副委員長が互選された。

委員長 海鋒 孝志
副委員長 松田 光也

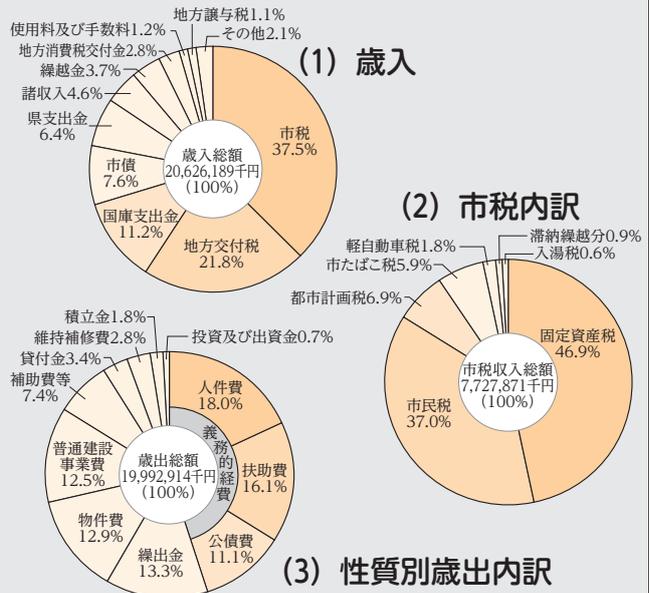
平成23年度 各会計の決算額

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	20,617,964	19,996,014
国民健康保険	6,736,376	6,461,809
用地買収	3,634	548
財産区	1,696	1,158
都市計画公共下水道事業	2,698,265	2,660,203
鍬ノ町土地区画整理事業	86,622	81,431
介護保険	3,840,772	3,768,783
市民墓地	4,805	1,758
後期高齢者医療	536,810	522,740
工業団地整備事業	1,420,168	1,418,472
計	15,329,148	14,916,902
合計	35,947,112	34,912,916

水道事業会計 当年度純利益 106,742千円
市民病院事業会計 当年度純損失 146,483千円

普通会計歳入歳出決算図表



※普通会計は、総務省で定める基準により作成される会計で、一般会計、用地買収、鍬ノ町、市民墓地の各特別会計を合算したものです。

討論

10月11日の本会議において、決算1件と議案1件について討論が行われました。

採決の結果、賛成多数で認定及び原案可決となりました。

▼認第1号平成23年度天童市一般会計決算

〈反対〉石垣昭一議員

子育て支援・福祉・教育環境の充実や、東日本大震災に対応した積極的な救援活動に敬意を表するが、次の点について反対する。

芳賀地区ありきの子育て支援施設整備の進め方。鍬ノ町の屋外遊具と併設してこそ相乗効果が期待できる。

デマンド型乗合タクシー運行。昨年度の月平均利用者は200人も激減している。デマンド型乗合タクシーの見直しと、補助金1500万円の根拠を精査する必要がある。

ふれあい荘かまた荘の管理委託。利用料金制度になって

市の実質経費が500万円の増。利用料収入は1147万円あり、指定管理委託料のあり方は再考の必要あり。

新駅設置基本設計調査業務委託料。全体事業や費用負担が不明確なまま進行されてきたことは問題。5億円もかけて新駅が本当に必要なのか。

▼議第29号子育て支援施設整備事業用地の取得について

〈反対〉茂木孝雄議員

子育て支援施設を整備することは大賛成だが、芳賀の用地を1平方メートル当たり4万5000円で購入することには反対。

まず土地価格は、交渉過程の説明も無く、算定根拠も不明瞭。また、売り出し中の周辺の住宅用地で4万5000円を超える区画は40区画中の3区画のみ。住宅用地は約70坪に細かく区画され、道路や

上下水道等の整備費用をかけているが、購入予定地は1万475・79平方メートルの広大な更地であり整備費用は少なく価格は下がって当然。この価格

は高過ぎる。さらに大きな土地の取引は、客観的かつ適正な評価のために、不動産鑑定士による「鑑定評価」を実施し、それを基準に価格を決定すべきだ。当事者間の交渉だけで進めるのはコンプライアンス（法令・倫理順守と不正防止）の面でも大きな問題がある。

〈賛成〉矢萩武昭議員

芳賀区画整理地内における「子育て支援施設整備事業用地」の取得に係る議案については、市民のニーズが高い屋内型での遊びの空間として、相談機能も盛り込まれた施設整備の検討を進めてきたものである。

このたび、保留地を取得することは、施設整備と市民サービスの向上を着実に進めようとする山本市長の市政を象徴する議案である。また、取得単価についても議決された予算内での単価で提案されたものであり、適正なものである。

待ち望んでいる多くの子どもたちと保護者、そして多くの市民のために、一日も早く子育て支援施設の完成をはかり、サービスを提供していただきたい。

〈反対〉狩野佳和議員

平成22年6月にオルゴール博物館が閉館した時、屋内型の子育て支援施設を造る提案をした。面積は0・75畝で隣接の駐車場を含めると約1畝で今回と同じ面積である。

当初予算で子育て支援施設の土地購入費約4億7000万円計上されたが、芳賀に新規に建設する必要は無いと反対した。議案は予算と全く同じ額で、一般市民感覚が全く反映されていない。新規に土地を購入し、建物を建設する事業ありきだ。

芳賀組合への負担金約13億円、新駅整備費約5億円、駅前広場整備費約1億円、市道清池南小畑線整備費約14億円、新調整池の整備費約6億円、市道矢野目高橋線高橋橋整備費約13億円、子育て支援施設整備費約13億円。10年間

で合計約65億円の投入だ。芳賀地区だけに、大型投資することに断固反対する。

〈賛成〉山崎 諭議員

芳賀土地区画整理事業地内に子育て支援施設を計画していることについては、平成22年3月議会において、市長が答弁の中で示したのが最初だった。以来何回かにわたり議会に対して、芳賀の進捗状況とともに示されてきた。議会改選後の昨年10月にも

全議員に対して子育て支援施設の説明があり、今年3月議会において、その土地購入費4億7000万円余りの予算が承認された。

本議案は、その金額での契約であり、今さら価格を下げることが、議会として整合性に欠けることである。

天童市が、子育て日本一を目指すための一環である子育て支援施設を早期に実現し、多くの子育て世代が天童市に移り住めるような環境づくりを、是非とも進めなければならぬ。

提出された議案とその結果

第4回定例会〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第12号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
認第1号	平成23年度天童市一般会計決算	認定 (賛成多数)
認第2号	平成23年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	平成23年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	平成23年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	平成23年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	平成23年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	平成23年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	平成23年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	平成23年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第10号	平成23年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第11号	平成23年度天童市水道事業会計決算	認定 (全会一致)
認第12号	平成23年度天童市民病院事業会計決算	認定 (全会一致)
議第16号	平成24年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	平成24年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	平成24年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第19号	平成24年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第20号	平成24年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第21号	平成24年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第22号	平成24年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第23号	平成24年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第24号	平成24年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第25号	平成24年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第26号	天童市火災予防条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第27号	字の区域及び名称の変更について	原案可決 (全会一致)
議第28号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第29号	子育て支援施設整備事業用地の取得について	原案可決 (賛成多数)
議第30号	市道天童高原線道路改良工事請負契約の一部変更について	原案可決 (全会一致)
議第31号	天童市教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

第3回臨時会(7月26日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第11号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第12号	天童市市民文化会館の設置及び管理に関する条例及び天童市立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第13号	天童市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第14号	小型ロータリー除雪車の取得について	原案可決 (全会一致)
議第15号	除雪ドーザの取得について	原案可決 (全会一致)

議案に対する議員の賛否一覧表 (賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致。)

議案	議席番号 氏名 会派	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	茂木孝雄	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	矢萩武昭	山口桂子	海鋒孝志	木村竹虎	赤塚幸一郎	結城義巳	後藤和信	山崎諭	石垣昭一	小松善雄	鈴木照一	伊藤護國	浅井健一	伊藤和子	水戸保
認第1号 平成23年度天童市一般会計決算		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議
議第29号 子育て支援施設整備事業用地の取得について (芳賀土地区画整理事業地内に、子育て支援施設整備事業用地10,475.79㎡を4億7,141万5000円で取得する)		×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長(議長は採決に加わらない)

※ 会派(採決時): 清=清新会、政=自公・政和会、民=民主市民クラブ、無=会派に属さない議員

議会のうごき

■7月

- 25日 自公・政和会研修（酒田市）
- 26日 議会運営委員会、第3回市議会臨時会、市長要請環境福祉常任委員会（予約制乗合タクシーの運行方法について外）
- 30日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会定例会、総務教育常任委員会所管事務調査（学校における児童生徒の状況について外）
- 31日～8月2日 清新会行政視察（栗山町、網走市、千歳市）

■8月

- 6日 県市議会議長会議員研修（ビッグウイング）
- 7日～8日 議会改革特別委員会行政視察（鶴ヶ島市、流山市）
- 8日 天童夏まつり「花笠パレード」参加
- 13日 議会改革特別委員会（夜間等の議会開催について外）
- 21日 各派代表者会
- 27日 議会改革特別委員会（議員の議案に対する賛否の公表について外）
- 28日 市長要請経済建設常任委員会（市有施設耐震化実施計画について）

■9月

- 4日 市長要請総務教育常任委員会（市税等のコンビニ収納について外）
- 5日 市長要請環境福祉常任委員会（市民病院改革プランの進捗状況について）
- 10日 議会改革特別委員会（正副議長選挙の立候補について外）
- 12日 議会運営委員会
- 18日 議会改革特別委員会（会派について外）
- 19日 広報委員会
- 19日～10月11日 第4回市議会定例会
- 26日 市長要請総務教育常任委員会（山形定住自立圏共

生ビジョン連携事業実施状況について）、環境福祉常任委員会所管事務調査（スポーツセンターの全天候型走路改修に関する件について）、市長要請環境福祉常任委員会（災害廃棄物の試験焼却結果について）

- 27日 市長要請経済建設常任委員会（天童市牧野公社に係る清算結了について）

■10月

- 1日 議会改革特別委員会（議会事務局職員体制について外）
- 9日 市長要請総務教育常任委員会（特別支援学校の再編・整備の在り方について外）、各派代表者会
- 11日 議員全員協議会、広報委員会
- 15日 各派代表者会、議会改革特別委員会（正副委員長の互選）
- 17日 議会運営委員会、総務教育常任委員会（正副委員長の互選）、広報委員会
- 18日～19日 自公・政和会行政視察・企業訪問（昭島市、都留市）
- 22日 議会報告・意見交換会（市内4カ所）
- 22日～23日 水戸保議員研修（大阪市特別顧問セミナー／大阪）
- 23日 全議員研修（議会改革）1班（奥州市）
- 25日 民主市民クラブ研修（地域医療政策セミナー／東京）
- 28日～30日 民主市民クラブ行政視察・研修（彦根市、大津市、議会改革集中セミナー／大阪、市町村議会議員短期研修／大津市）
- 29日 全国高速自動車道市議会協議会理事会（議長、局長補佐／全国都市会館）
- 31日 広報委員会

■11月

- 1日 全議員研修（議会改革）2班（会津若松市）
- 5日 全議員自主研修会

会派構成名簿

平成24年10月11日現在

会派名	順番	所属議員氏名	役職
清新会	1	伊藤 護 國	会長
	2	村山 俊 雄	幹事長
	3	鈴木 照 一	
	4	小松 善 雄	副会長
	5	山崎 諭	副会長
	6	山口 桂 子	会計
	7	矢萩 武 昭	
	8	遠藤 敬 知	
	9	水戸 芳 美	
	10	武田 正 二	
自公・政和会	1	結城 義 巳	会長
	2	松田 光 也	幹事長
	3	後藤 和 信	副会長（会計）
	4	浅井 健 一	副会長
民主市民クラブ	1	狩野 佳 和	代表
	2	木村 竹 虎	副代表
	3	海鋒 孝 志	幹事長（会計）

※会派に所属しない議員：水戸 保（議長）、伊藤和子、石垣昭一、赤塚幸一郎、茂木孝雄
議長は、申し合わせにより、任期中に限り会派から離脱しています。

構成の変更

会派の異動届及び委員会委員等の辞任願が提出されました。

それに伴い、一部の委員会において構成及び役職（正副委員長等）が変更になりました。

異動後の新しい会派構成名簿及び変更になった3つの委員会の構成は次のとおりです。

変更になった委員会の構成

（◎印 委員長、○印 副委員長）

総務教育常任委員会 (7人)	◎後藤 和信 伊藤 和子 村山 俊雄 武田 正二	○木村 竹虎 赤塚幸一郎 茂木 孝雄
議会運営委員会 (7人)	◎山崎 諭 結城 義巳 松田 光也 遠藤 敬知	○村山 俊雄 山口 桂子 狩野 佳和
議会改革特別委員会 (10人)	◎小松 善雄 伊藤 和子 山崎 諭 赤塚幸一郎 松田 光也	○村山 俊雄 伊藤 護國 結城 義巳 海鋒 孝志 武田 正二

※太文字が変更となったところです。

議会改革特別委員会行政視察

8月7日～8日

《埼玉県鶴ヶ島市》

鶴ヶ島市議会では平成19年6月に議会改革検討委員会を設置し議会改革に取り組んでいた。

改革は、平成20年3月に議会ホームページに議員の賛否表を掲載した。4月には埼玉県では初の議会報告会を開催した。また、7月からは議会基本条例の検討を開始し、平成21年3月に「鶴ヶ島市議会基本条例」を制定した。

平成21年7月には名称を議会改革検討委員会から改革推進委員会に改称して、より具体的な検討を行っていた。

《千葉県流山市》

流山市議会は全国で議会改革が一番進んでいると言われているが、ひっきりなしに視察を受け入れているとのこと。

盛りだくさんのテーマについて実施しているが、議会報告会の実施内容について詳しく研修を受けてきた。

開催は年に2回で、5月は



▲鶴ヶ島市議会山中副議長から説明を受ける

平成23年度組合会計決算

収入		(単位：万円)
区分	決算額	摘要
市町村負担金	67,701	天童市：26,772 東根市：20,551 村山市：10,970 河北町：9,408
償還交付税	8,230	組合債返還のために、国から交付された額
処理及び紙手数料	76,225	ごみ・し尿処理手数料、ごみ袋売上金など
財産収入	4,794	アルミ、ペットボトル等売却代金など
繰入金	13,828	基金からの繰入金
繰越金	23,137	前年度からの繰越金
諸収入	2,037	預金利子など
組合債	38,370	国等からの借金
国県支出金	50	国・県から交付された額
計	234,372	

支出		(単位：万円)
区分	決算額	摘要
議会費	111	組合議員報酬など
総務費	28,268	事務管理費など
事業費	175,391	ごみ・し尿処理費用など
公債費	21,906	組合債の返済
計	225,676	

○補正予算の専決処分し尿処理施設の額の確定による地方債の変更と国からの廃棄物処理施設モニタリング事業補助金（放射性物質濃度測定）の増。

○平成23年度決算。（左表）

○国の法律改正に伴う（技術管理者の要件が変更）条例の改正。

議員・執行部合同研修
8月20日に議員と執行部の合同研修が宮城県多賀城市で行われた。

これは、東日本震災において多賀城市の復興状況を確認するとともに、多賀城市から焼却処理を依頼されている災害廃棄物（可燃系粗大ごみを破壊後に圧縮梱包したものの）、放射能汚染やその他の安全を確認するものであった。

東根市外二市一町共立衛生処理組合 (クリーンピア共立) 議会

災害廃棄物の受入れ

8月26日・27日に、多賀城市からの災害廃棄物5・69トンを管内の一般ごみと一緒に混合して試験焼却を行った。

災害廃棄物の放射性セシウム濃度は164ベクレル/キログラムで山形県の受入れ基準200ベクレル/キログラムを下回った。また、焼却灰（飛灰）の放射性セシウム濃度も1010ベクレル/キログラムで山形県の受入れ基準4000ベクレル/キログラムを下回った。

焼却施設周囲の住民説明会なども行い、多賀城市の災害廃棄物を10月16日から1日10ト程度、今年度末まで計約1000ト受け入れる予定です。



▲災害廃棄物の放射線量を測定

市民の声

初めての市議会の傍聴であつたため、緊張しながら開始時間よりやや早めに議場に臨み、一般質問の開始を待ちました。

議会の傍聴にあたり、一番の興味は、各議員の質問の内容と、それが市民生活にどのような影響を及ぼしているのかを聞くことでした。

一般質問2日目を傍聴させていただき、各議員の質問では、行政における種々の問題点を指摘し、市民生活向上のために、日々、議員活動を行っていることをうかがい知ることができました。

また、今回の議員の一般質問の中では、「芳賀新駅建設計画等に係る市の財政支出等の適否について」が大きな要素を占めているように感じられました。

市議会を傍聴して感じたこと

小座間清次郎 (61歳・山元)

このような、多額の財政支出等を伴う事業を計画する場合には、市民への周知と市民の合意を得ているかどうかの検討を十分に行った後に、事業実施の可否について判断していく必要があると感じられました。

では、「全ての市民への周知が行き渡った」とは何を捉えて言うのでしょうか。また、「市民の合意を得た」とはどういう状況になった場合を言うのでしょうか。議会の承認を得た段階で市民への周知と市民の合意を得たものと考えられるのでしょうか。

いづれにしても、市民の声を市の行政に反映させるのは議会であり、市民が選出した議員であると考えます。今回、傍聴して感じたことは、市の行政全体を見極めたうえで議員活動の重要性でありました。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査したあと、本会議で採決が行われました。結果は次のようになります。

件名	提出者	付託委員会	結果
地方財政の充実・強化を求める請願	連合山形地域協議会 議長 大城 啓	総務 教育	採択 (全会一致)

インターネットで議会中継

天童市議会では、本会議をインターネットで生中継しています。また、その約1週間後からは録画でもご覧いただけます。

現在、積極的に取り組んでいる議会改革特別委員会の開催予定、市議会議員の紹介、平成17年度からの議会だより、平成13年以降の定例会・臨時会の会議録などもホームページから確認できます。

天童市議会 で **検索**

12月定例議会の日程(予定)

- 12月7日(金) 本会議 (初日)
- 11日(火) 本会議 (一般質問)
- 12日(水) 本会議 (一般質問)
- 13日(木) 常任委員会
- 14日(金) 常任委員会
- 17日(月) 予算特別委員会
- 18日(火) 予算特別委員会
- 21日(金) 本会議 (最終日)

※請願の締め切りは、11月29日(木) 正午までの予定です。

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●今年の夏は猛暑が続き、水不足も懸念されましたが、秋の気配とともに冬の足音が聞こえる頃となりました。

●9月定例会では、賛否が拮抗する議案があり、話題の多い議会でありました。今号から議員一人ひとりの賛否を一覧表として掲載しました。各議員が自らの考え・自らの意思で市民の側に立った行動をし、信頼される議会にしていきたいと思います。

●10月22日に市内4会場で開催された各会場とも活発な意見が交わされ、意義ある報告会となりました。

●今後とも市民の皆様が親しまれ、理解される議会だよりを目指してまいります。ご意見・ご要望をお寄せください。

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 狩野 佳和 |
| 副委員長 | 矢萩 武昭 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 〃 | 結城 義巳 |
| 〃 | 遠藤 敬知 |
| 〃 | 武田 正二 |

発行 天童市議会 山形県天童市老野森一丁目1番1号 電話023(654)1111
編集 天童市議会広報委員会 印刷 大場印刷株式会社